

探究・校務改革 支援補助金 2025

令和6年度補正予算
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

効果報告レポート

【事業者名】

コトバンク株式会社

【サービス名称】

時間割クラウド「Koom」
音読指導アプリ「リピートク」

【サービスの支援項目】

カテゴリ2-1 教職員の業務効率化・省力化 メインサービス

2026年1月



1. 音読指導アプリ「リピートーク」の概要、特徴

教員向け音読指導アプリ「RepeaTalk」は教員が指定したテキストを使って、指定した練習形式（Shadowing、Repeating等）で生徒が音読練習をすることを可能にし、録音された練習結果を添削することができるアプリです。

- ・個別添削が重要とされる音読において、AIを添削に活用することで、学習効率の向上と教員の添削負担軽減の両立を実現します。
- ・類似サービスと異なり、授業内容を反映した音読課題を設定することができ、学習効率を高められます。
- ・授業外での音読課題で利用されることが多く、授業内で帯活動として利用されるケースもあります。
- ・1生徒あたり月額600円（税別）にて提供しています。（初期費用なし）

導入にあたり、利用するテキスト・教材によっては、その出版社より利用許諾を得る必要がある場合がございます。

また、その利用許諾を得るのにあたり一定の費用負担が学校または生徒様にかかる場合がございます。

2. サポート内容

授業での利用方法を相談の上、システムの設定は弊社スタッフが代行いたします。

※アカウントの設定、不足資料の作成、教材・課題の設定

開始時の使い方説明資料の提供や説明会を実施いたします。

1. 時間割クラウド「Koom」の概要、特徴

時間割クラウドKoomは時間割の作成と運営を支援するクラウドサービスです。

必要な情報を誰でもアクセスできるようにし、集約された情報からアルゴリズムを用いて時間割を作成します。

- ・時間割作成担当教員に属人化しがちな作業をオープンにし、作業負担を軽減します。
- ・類似サービスと異なり、クラウド化により教員間で作業分担が可能になり、時間割作成作業の分散が可能となります。
- ・年度初め時間割作成はもちろん、試験用などの特別時間割の作成、出張などで先生が不在の多い期間の時間割作成などにも利用いただけます。
- ・1校月額9,800円(税別)で提供しています。

導入当たり学校側で必要な初期費用や作業はございません。

2. サポート内容

時間割の特徴をヒアリングした上で、システムの設定作業を弊社で代行いたします。

※アカウントの設定、共通設定データの入力代行

開始時の使い方説明資料の提供や説明会を実施いたします。

■ 学校等教育機関の課題と解決策

時間割作成と運営が属人化し、負担が集中しやすい現状を、時間割クラウド「Koom」は分散化と自動化を通じて改善します。

英語学習における音読課題の質と量の管理が難しい現状を、音読指導アプリ「リピートーク」はIT活用を通じて教員の負担をかけずに改善します。

児童生徒・教職員が抱える課題

■ 時間割作成・運用の課題

- ・教員の働き方改革実現にはニーズに配慮した時間割の作成が必要であるが、時間割の複雑性を増やすことはその作成・運営を行う教務担当教員の負担増につながる。
- ・短期間で複雑な時間割を作成する必要がある。現在時間割作成担当教員にその負担が集中する構造となっている。

■ 英語学習の課題

- ・音読練習の学習効果は証明されているが、その具体的な練習方法(質)と練習時間(量)を管理するコストが高い。
- ・個別フィードバックを提供することが学習効果向上に有効であるが、教員の手間が増える。

サービスが果たす役割

■ 時間割クラウド「Koom」の役割

- ・配慮したい事項を条件としてKoomに登録をすることで、それらの事項に配慮した時間割の作成を負担を増やさずに実現する。
- ・クラウドによる作業の分散化を可能とし、アルゴリズムを用いることで時間割作成を自動化することで、時間割作成担当教員の負担を軽減する。

■ 音読指導アプリ「リピートーク」の役割

- ・教員が理想とする音読練習方法を事務局が設定し、練習時間も可視化することで、音読練習の質と量の管理を教員の負担を増やさずに実現する。
- ・AIが生徒の音読練習結果を自動添削することにより、担当教員の個別フィードバックの手間を削減する。

■ 探究・校務改革支援補助金における活用場面

サービスの活用風景・授業の流れ

時間割クラウド
「Koom」

情報入力

勤務可能日、授業担当などを全教員がクラウドで入力、教務が確認・修正する

コマ配置

情報に基づき、アルゴリズムを用いてコマ割り付けを行う

運用

期末試験用など、特別時間割を作成する。教員の出張等に伴う日頃の時間割修正を行う。

← 本事業では時間割変更、時間割編成のシミュレーションに活用 →



音読指導アプリ
「リピートーク」

授業内

教室で教科書を用いて英語教員が指導を行う

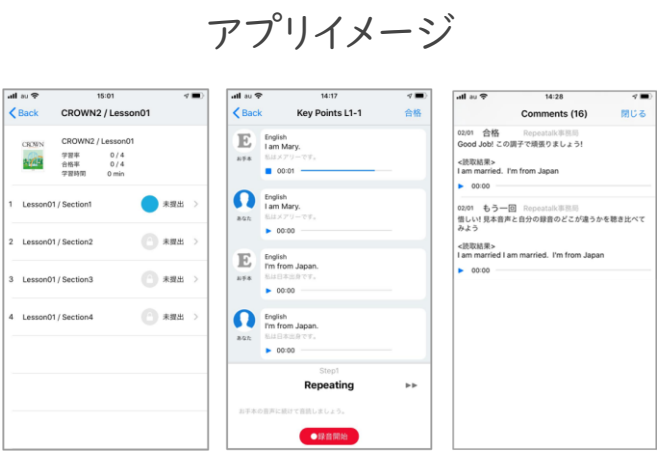
※RepeaTalk導入クラスの担当教員にヒアリングをし、ニーズに基づき、テキストに準拠した音読課題を設定した

授業外

教員が設定した音読練習課題を生徒が授業外で実施し、教員が添削する

- ①練習する
- ②録音する
- ③評価
- ④振り返る

- 指定形式で練習する
- 録音を提出する
- 教員が個別添削する
- 添削を確認・再学習



■ 探究・校務改革支援補助金における導入実証実績

本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	9	学校等教育機関数	17校
--------	---	----------	-----

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	学校法人文理学園	日本文理大学附属高等学校	大分県	高校	全校	Koom利用・学校/学年/学級経営、事務
2	学校法人明治大学	明治大学付属明治高等学校	東京都	高校	高2	リピートク利用・授業、授業準備
3	学校法人立命館	立命館守山高等学校	滋賀県	高校	高2	リピートク利用・授業、授業準備
4	札幌市教育委員会	札幌市立宮の森中学校	北海道	中学校	全校	Koom利用・学校/学年/学級経営、事務
5	目黒区教育委員会	中学校4校	東京都	中学校	全校	Koom利用・学校/学年/学級経営、事務
6	杉並区教育委員会	杉並区立天沼中学校	東京都	中学校	全校	Koom利用・学校/学年/学級経営、事務
7	北海道教育委員会	北海道羽幌高等学校	北海道	高校	全校	Koom利用・学校/学年/学級経営、事務
8	学校法人花岡学園	坂出第一高等学校	香川県	高校	全校	リピートク利用・授業、授業準備
9	足立区教育委員会	中学校6校	東京都	中学校	全校	Koom利用・学校/学年/学級経営、事務

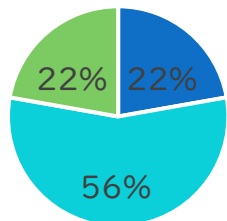
■【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定量的効果検証

時間割クラウド「Koom」

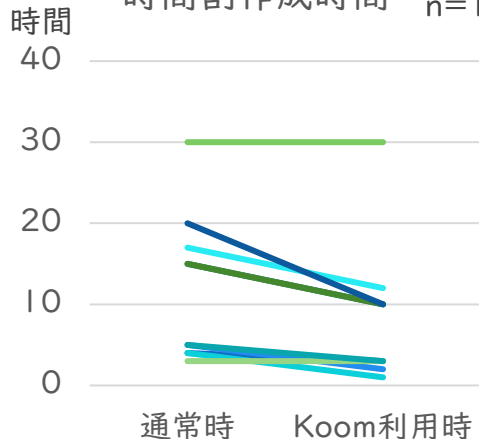
Koomにより時間割作成時間が78%の学校で削減できた

時間割作成時間の変化 n=14校

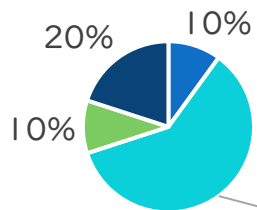


- 大きく削減した
- ある程度削減した
- 変わらなかった

時間割作成時間 n=10校



反映できたコマ割り付け条件の割合 n=14校



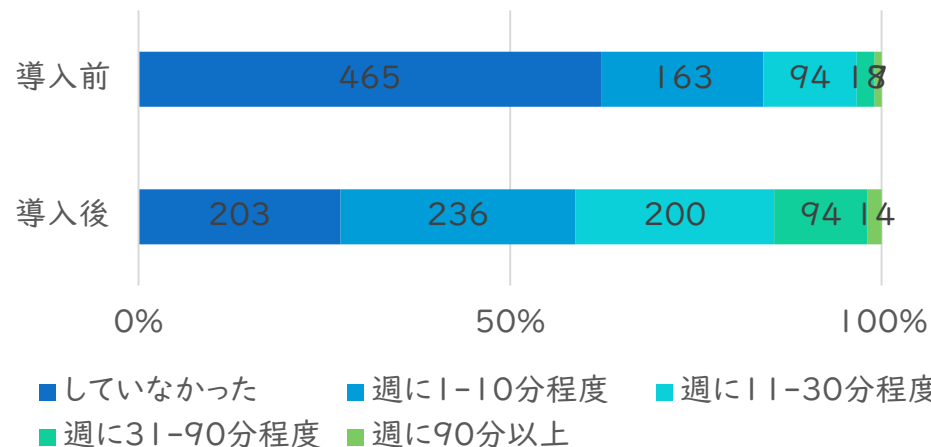
- 100%
- 80-99%
- 60-79%
- 40-59%

70%の学校がコマ割り付け条件の80%以上を反映できたと回答した

音読指導アプリ「リピートーク」

リピートーク導入によって授業外音読学習時間が大きく伸びた

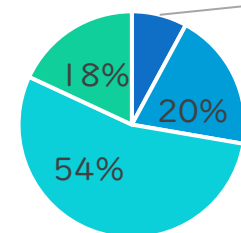
導入前後の授業外音読学習時間の変化 n=生徒747



リピートークによる学習効果を72%の生徒が実感をした

- ・気軽にスピーキングの練習ができた
- ・発音がよくなった
- ・学習内容が口からでやすくなった

学習効果の実感 n=生徒747



- 1
 - 2
 - 3
 - 4
- 実感がない ■ 実感がある

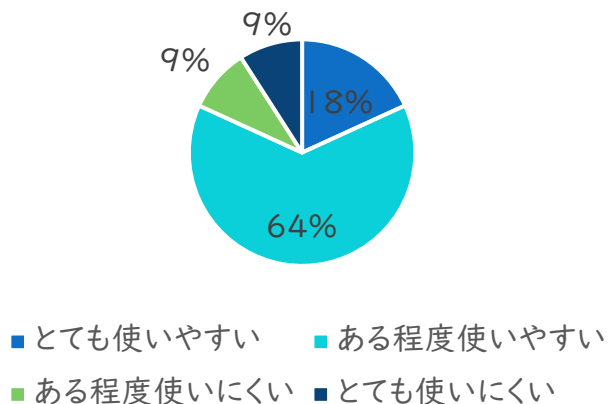
■【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定性的効果検証

時間割クラウド「Koom」

82%以上の利用者が使いやすいと評価をした

Koomの使いやすさ n=14校



改善の要望

- ・非常勤教員の条件は厳しく、優先して時間割を自動的に作成してほしい
- ・学年でまとめる(例:英語教員が1年生2クラスをしてから2年生の授業をする)、授業準備のために前の1時間はあける といった配慮を反映できるようにしてほしい
- ・週単位のみならず、1学期や1年の期間にわたって授業実施回数を調整してほしい(授業時数管理の観点で反映できない)

音読指導アプリ「リピートーク」

リピートークによって個別添削回数が増えたケースが多く、個別添削は1クラス30分以内に終了した。

教員	導入前 個別添削回数	導入後 個別添削回数	導入後評価にかかった時間
A	実施せず	1学期に1回程度	1クラス11-30分
B	1学期に1回程度	AIによる評価のみ	-
C	1学期に1回程度	1学期に1回程度	1クラス11-30分
D	1学期に1回程度	1週間に2回程度	1クラス11-30分

リピートーク導入の授業への影響

- ・授業内でリピートークを利用するために他の授業速度を速めた。
- ・授業内で行う事項の順番を変えたり、時間のかけ方を変化させた。

時間割クラウド「Koom」

担当教員からのコメント

「大本ができるのがポイント。そこから手修正できると楽。」

「出勤日に教科部会で必要な情報を一気に集める形になっている。顔合わせをしないと担当授業等を調整できない(ために、オンラインで情報入力機能は実運用できない)。」

「複数人が同時作業できるのがよい。」

「他社製品のUIは親切でない。Koomは急に任されても作れる。」

「ITリテラシーが足りず、直接Koomにデータ入力できない教員が一定数いる」

音読指導アプリ「リピートーク」

担当教員からのコメント

「授業内で行う事項の順番を変えたり、時間のかけ方を変化させた、これまで授業でできていなかったことをできるようになった。」

「音読の指導に役立つアプリを探しており、補助金であったから導入した。うまく使えているクラスは効果がある。」

生徒からのコメント

「使いやすく、スムーズに操作出来ました。」

「評価が明示的でわかりやすかった。」

「精密に添削などをしてアドバイスをしてくださるので助かります。」

「AIの聞き取りをもう少しよくしてほしい」

■ 探究・校務改革支援サービスを活用するにあたっての課題とその改善策

時間割クラウド「Koom」は初年度の設定のコストが高い点、十分反映できていない条件がある点が課題

音読指導アプリ「リピートーク」は音声の出力・入力の安定性、コンテンツ利用許諾コストが課題

直面した課題

■ 時間割クラウド「Koom」の課題

- ・初年度は登録が必要な情報が多く、コストとなっている
- ・ITリテラシー等が課題となり、作業のクラウド化ができない
- ・コマ割り付け条件で反映できていないものが存在する
- ・授業時数管理ができない

■ 音読指導アプリ「リピートーク」の課題

- ・音声の出力、入力が安定しない場合がある
- ・コンテンツの利用許諾がとれない場合、追加料金を求められる場合がある

解決するための改善策

■ 時間割クラウド「Koom」で今後想定している改善策

- ・データの入力代行で現場負担を軽減する。また、CSVでのデータ登録を可能にする機能を随時実装予定
- ・操作が難しいと感じる人でも操作できるよう、動画マニュアルをはじめとするユーザーサポートの拡充を図る
- ・反映できていないコマ割り付け条件をヒアリングを通じて把握し、随時実装できるように努める
- ・授業時数管理は中長期的な取り組みとして、実装方法を検討する

■ 音読指導アプリ「リピートーク」の役割

- ・技術的改善に引き続き努める。また、各学校現場のIT環境を把握しやすくするよう、チェックリストの充実や弊社スタッフによる訪問体制の拡充に取り組む
- ・教科書・教材出版社との関係構築と交渉を粘り強く実施する
適正な利用許諾料などの指針が示されることを期待される

■会社概要

社名	コトバンク株式会社 COTOBANK INC.
代表	小泉純
設立年月	2008年8月
本社	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-15-12-301
資本金	40,050,000円
売上高等	非公開(1-3億円)
従業員数	10人
事業内容	<p>「ヒトがヒトを教える」ということ、「ひとがひとから学ぶ」ということをテクノロジーで支援します。今、必要とされることを最大限に。人を主体に「最高の道具」としてのEdTechをコトバンクは提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間割クラウド「KOOM(コーム)」 ・英語音読クラウド「RepeaTalk(リピートーク)」 ・教員向けメディア「国際教育ナビ」

■お問い合わせ窓口

担当： 谷口諭

Mail: info@cotobank.netWEB: <https://www.cotobank.net/>